



まなび舎

東京都立港特別支援学校長



岡戸 良雄

No. 9

学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました

副校長 岸田 大輔

今年も残すところ約1か月となりました。冬の訪れを感じるこの頃、朝晩の冷え込みが一層強くなり、インフルエンザや感染症が流行する時期を迎えています。手洗い・うがいの励行、マスクの着用、十分な栄養と睡眠など、基本的な予防を続けていきましょう。そして、体調がすぐれないときは無理せず、早めの休養や受診などの対応をお願いいたします。

さて、9月末から10月にかけて御協力をお願いした「学校評価アンケート」の集計が完了しました。

学校評価は、法令等に基づき「学校は、教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならないもの」とされています。本校では、例年、生徒・保護者、教職員、地域の関係機関の皆様から、学校評価アンケートを通して、本校の教育活動に関する評価や御意見等を聴かせていただいております。現在、皆様からの貴重な御意見をもとに、学校運営の改善に向けた方策を練っているところです。

また、学校運営連絡協議会において、委員の方々（学識者、近隣高等学校長、進路先担当者、地域の関係機関、PTA代表）からも御意見をいただくなど、外部評価を活用し教育活動の充実につなげています。結果の詳細は、3月の保護者会にて御報告させていただく予定です。

今後も、校内外からの一つ一つの御意見を大切にしながら教育活動の充実に努めてまいります。改めまして、お忙しい中、アンケートへの御協力ありがとうございました。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

普通科 1年移動教室

普通科1年学年主任 村上 希

10月29日(水)から10月31日(金)まで、長野・山梨県方面へ行きました。初めての宿泊に緊張しながらも事前学習を通して期待感を膨らませ、当日を迎えることができました。山梨県立科学館では、科学の力に魅了され、「おお！すごい」と思わず声が出てしまう様子や、自分から体験に手を伸ばす様子が見られました。ほうとうづくりでは、食材に触れ、捏ねる・伸ばす・切るといった本格的な工程を体験し、自分達で作った昼食に大満足することができました。また自然散策では、ほのかに色づく木々の違いや澄んだ空気を感じ、自然を感じることができました。まさしく、学年スローガンである「見て！触れて！感じて！仲間と楽しむ移動教室」を体験できる2泊3日となりました。共同生活を通して、他者を意識して行動する力も育まれ、仲間との絆がより一層深まりました。今後の学校生活にも期待が高まります。

実施に際し、生徒の荷物準備や健康管理と多くの御協力をいただきありがとうございました。

職能開発科 1年就業体験

進路指導部 沖山 元

職能開発科1年生は6月と9月に就業体験を行いました。異なる職域の4社の見学と作業体験を通して、生徒たちは自分のできること・苦手なこと、社会人や会社のルールやマナーの学習、そして世の中にはいろいろな仕事があることを情報収集しました。見学を通して4社で共通していたことがありました。それは、作業は丁寧に正確に行うこと、任された作業が終わったら自分から報告をし、不明な点は自分から相談をすることでした。なぜ、丁寧に正確に作業することが重要なのでしょうか。それは世の中のすべてのお仕事はお客様からの依頼があって生まれるからです。お客様が満足する質の高い仕事をするために、大人は報告・連絡・相談をしながらチームで仕事をしていることが分かりました。

就職はゴールではなくスタートです。社会人のスタートラインに向けて、学校生活の中で得意なことだけでなく、苦手なことにもチャレンジしてほしいと思います。